

# 実は、厳しい宝塚市の財政状況

問 財政課 (☎77・2022 FAX72・1419)  
 経営改革推進担当(☎77・4571 FAX72・1419)

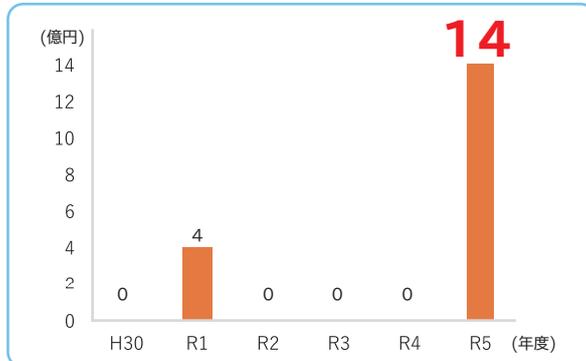
## 4年ぶりの赤字

財政調整基金を14億円取り崩した結果、実質収支は黒字となっていますが、実質収支から財政調整基金の積み立てや取り崩しなどの要素を除いた実質単年度収支は、令和元年度以来4年ぶりの赤字となり厳しい状況です。財政課題に対応しながら現状の財政運営を続けると、今後10年間の収支累計が約113億円の赤字になる見通しです。

収支 (実質単年度収支) の推移



貯金 (財政調整基金) の取り崩し額の推移



### この先どんな課題があるの？

#### 市立病院の経営強化と新病院建設

令和5年度の市立病院の決算は、一般会計からの8億円の経営支援を差し引くと、経常損失が生じています。また、建て替えの財源確保も課題です。

#### 新ごみ処理施設の建設

クリーンセンターの老朽化に伴い、新ごみ処理施設の整備に取り組んでいます。施設の整備には現時点で約463億円を要し、地方債(借金)の増加が見込まれます。また、物価高騰による建設費増加のリスクもあります。

#### 土地開発公社の経営健全化

市が出資している土地開発公社は、長期保有土地を多く抱えており経営を圧迫しています。経営の健全化に向けて、保有土地の有効活用や処分を検討します。

## 全591事業見直し

本市の厳しい財政状況を踏まえ、事業の必要性や有効性などの観点から、すべての事務事業を見直し、収支改善に取り組む必要があります。市民や事業者への影響が大きい取り組みも見直しの対象となります。

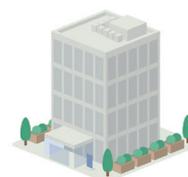


詳細

**市役所、SC・SSなどの閉庁時間を17時半から17時に短縮**  
 業務効率化やデジタル化を進め、市民サービスの向上と職員の働き方改革を進めます。



**公共施設(建物施設)保有量最適化方針に基づく取組の推進**  
 市民ニーズの変化や施設の老朽化などを踏まえ、必要最小限の施設でより効率的な運営を目指します。



#### 各施設の利用料金の見直し

受益者負担適正化ガイドラインに基づき、各施設の料金を見直します。

#### その他歳入を増やす主な取り組み

- ・ふるさと納税のさらなる確保
- ・市有地の売却など市の財産を活用した財源の創出
- ・民間企業からの広告料収入の拡充

#### その他歳出を減らす主な取り組み

- ・ペーパーレスの推進など内部事務改善による経費の削減
- ・管理職特別手当の支給を3年間休止、時間外勤務の縮減

## 一般会計の概要

### 歳出 927.9億円 (前年度比28.3億円の増加)

新ごみ処理施設整備事業費の増や病院事業会計への経営支援8億円などにより衛生費が約25.6億円の増となったことや、価格高騰重点支援給付金事業の増などにより民生費が約20.5億円増となったことにより、歳出が増加しました。

#### 土木費

- ・都市計画道路荒地西山線整備
- ・都市計画道路競馬場高丸線整備
- ・JR武田尾駅バリアフリー化の検討 など



#### 民生費

- ・私立保育所新規開園に伴う助成金
- ・指定保育所への助成金
- ・子ども家庭総合支援拠点の設置 など



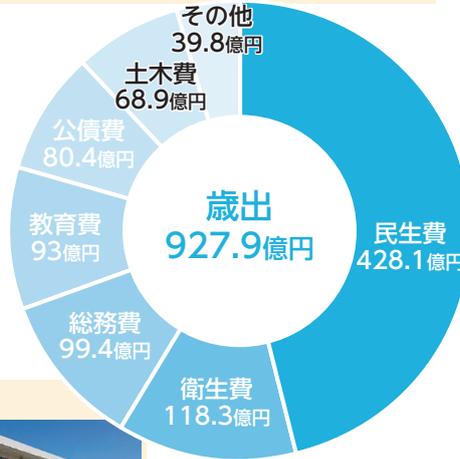
#### 教育費

- ・部活動の地域移行の検討
- ・ハーフマラソンの実施 など



#### 総務費

- ・新庁舎の外構工事
- ・「書かない窓口」の運用
- ・データ活用、業務改革支援ツールの導入 など



#### 衛生費

- ・新ごみ処理施設の整備
- ・地域脱炭素・再エネ推進助成金の交付
- ・産婦健康診査助成金の交付 など



## 会計別決算 (一般会計 + 特別会計)

(単位: 億円)

(残高)

	歳入	歳出	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支
一般会計	943.0	927.9	3.3	11.8
特別会計	507.0	501.2	0	5.8
合計	1450.0	1429.1	3.3	17.6

借金	金額	(残高)
地方債		706.9億円
貯金	財政調整基金 経済事情の変動などによる財源不足や、災害復旧などの予見できない事業の財源を補うための基金	68.2億円
	公共施設等整備保全基金 公共施設などの整備や保全費用に充てるための基金	33.5億円
	その他の基金	123.6億円

## 財政状況を示す4つの指標 健全化判断比率

指標	結果	早期改善化基準*1
<b>実質赤字比率</b> 毎年安定して得ることのできる収入に対する、一般会計などの赤字の割合	黒字のため数値なし	11.29%
<b>連結実質赤字比率</b> 一般会計、特別会計、公営企業会計の全体での赤字の割合	黒字のため数値なし	16.29%
<b>実質公債費比率</b> 財政規模に対する借金返済額の割合	5.0% (昨年度から0.4%悪化)	25.0%
<b>将来負担比率</b> 財政規模に対する将来負担する実質的な負債割合	1.9% (昨年度から0.9%改善)	350.0%

\*1 この基準を超えると国の定めに従い、早期に財政状況を是正する必要があります